

## 北辰テスト勉強法 ー理科ー

### 出題傾向と出題形式の確認

北辰テストは、埼玉県公立入試を想定した問題形式で構成されています。

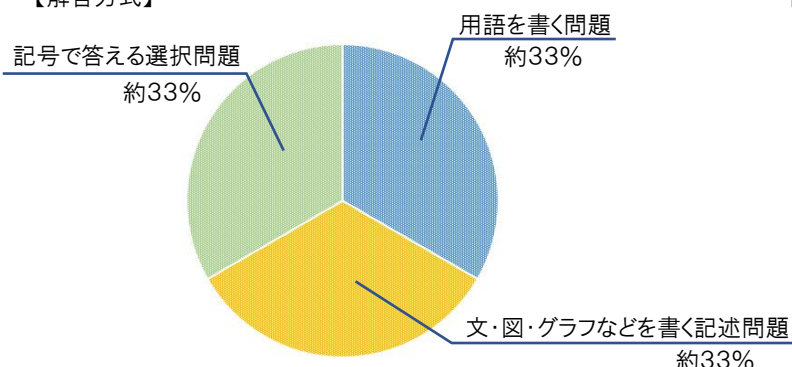
選択問題だけでなく、**計算の過程やグラフや図表への書き込み、記述問題**等も出題されます。また**計算の途中式や実験の考察**についても解答する力が求められます。



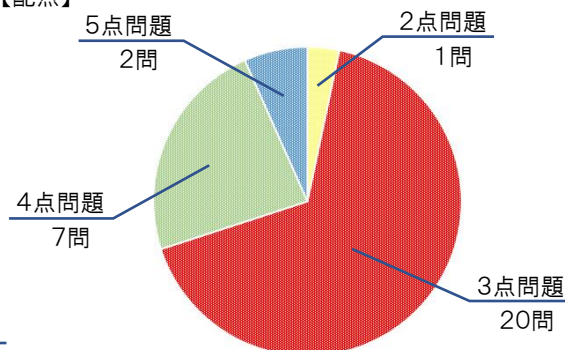
#### 【出題範囲】

以前は、1年間を通じて同じ分野が二度出題されることはありませんでした。しかし、その制限がなくなったため、1学期中に実施された試験と同じ分野の問題が出題される可能性があります。特に重要単元・重要語句・重要テーマは出題されやすいでしょう。

#### 【解答方式】



#### 【配点】



#### 【出題分野】

分野 [物理分野、化学分野、生物分野、地学分野]

大問1が小問8問(各分野から2問ずつ)、大問2～5が各分野から1つずつ出題

### 学習の取り組み方

今年度の出題範囲は以下の通りです。1・2年範囲は移行措置補助教材の内容も含まれます。

	第2回(6月)	第3回(7月)	第4回(9月)	第5回(10月)	第6回(11月)	第2回(12月)
出題範囲	1・2年全範囲	1・2年全範囲	1・2年全範囲	細胞分裂,生殖 (P.16 まで)	細胞分裂,生殖,遺伝 (P.45 まで)	水溶液とイオン (PP.108~123) 運動とエネルギー (PP.174~189)

(第5回～第7回は1・2年範囲も含む)

#### ■出題範囲から読み取れること

中3内容は第5回以降から、一部の範囲に限って出題されています。言いかえると、**ほとんどが中1・中2の単元から出題**されています。

#### ■効果的な学習法

- (1) まずは夏期講習会の**単元別小テスト**(中1・2の範囲)を合格点が取れるまで練習しましょう。
- (2) 「**北辰のかこもん**」を一通り解きましょう。自己採点のあと間違い直しを必ず行うことが肝心です。
- (3) 答えを1週間以内に解き直し、**間違い直しノート**をつくと、単元定着度が上がります。
- (4) iワークの要点のまとめをもとに重要なポイントをノートにまとめると**自分専用の参考書**ができあがります。
- (5) **記述問題対策**に重点を置く秋期講座を受講しましょう。



**志英館の取り組みと方針**

単元別小テストの徹底演習…………… 用語と実験観察問題の解法を学びます。  
 「北辰テストのかこもん」の活用…………… 北辰テストでの記述式問題に対する解答力を磨く演習を8月集中特訓で行います。  
 「間違い直しノート」の活用…………… ミス再発の防止に効果的です。

**高得点の秘訣とアドバイス**

**■モチベーションを高める**

「到達できるオリジナルの目標」と「演習のテーマと学習手順の設定」のふたつを明らかにすると意欲的に学習できるようになります。

**■生物分野・地学分野の知識問題を優先する**

生物分野・地学分野の**知識問題を優先して暗記する**ことがおすすめです。単元別小テストの練習で正しい知識を身につけましょう。

**■日頃から正しい用語の書き取りを行う**

記述式の設問において漢字指定問題が出題されても得点できるよう、日頃から**正しい用語の書き取り**を繰り返し行うトレーニングは必要です。大問ごとの問1から問3に出る用語を中心とした基本問題を練習しよう。

**■ケアレスミスをしな**

高得点を取るための最大の秘訣はケアレスミスをしなことです。試験終了5分前には答案の見直しを行い、用語の書き間違いや計算ミスを点検することでケアレスミスを防ぐことができます。計算問題は公式を当てはめるだけで解けてしまう問題も多く出題されています。苦手意識を持たずに基礎基本を大切にしましょう。



**■部分点も得点のチャンスにする**

記述問題や計算問題は内容の一部だけ書いておくだけでも部分点がもらえることがあります。

**■すべてを解き切ろうとしない**

北辰テストは全部を解き切る必要はありません。理科に苦手意識のある生徒は到達できそうな目標(偏差値)を決め、その目標点を目指して頑張りましょう。

**◆目標偏差値と得点の目安(過去の事例)**

目標偏差値	平均40.6のとき	平均45.9のとき
50	41	45
60	64	66
70	86	85

**出題単元予想**

実施回(月)	物理分野			化学分野			生物分野			地学分野	
	光・音・力	電流と磁界	運動とエネルギー	身のまわりの物質	化学変化	イオン酸とアルカリ	植物	動物と人体	生殖と遺伝	大地の変化	天気
4回(9月)	力と圧力				酸化と還元			消化		火山	
5回(10月)		電流と発熱		混合物の状態変化					生物のふえ方		日本の天気
6回(11月)	光と音				化学変化				遺伝子		前線と天気
7回(12月)	力 物体の浮力			物質の見分け方				刺激と反応		地層の でき方	